

- 1 日 時 平成23年6月〇日 (〇)
- 2 場 所 広島市立〇〇中学校 〇〇学級
- 3 学 年 特別支援学級 (知的障害特別支援学級)
- 4 題材名 できるだけくわしく文を作ろう

5 題材設定理由

- これまで国語科の学習においては、身の回りの出来事について自分が考えたことや思ったことを話す活動を取り入れ、それらを少しずつ文章で表現することに取り組んできた。その結果、主語と述語の関係については理解することができるようになってきているが、事柄をより正確に伝えるための修飾語と被修飾語の関係の理解や「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どのように」などの言葉を使って表現することについてはまだ難しい現状がある。  
また、拗音や促音、撥音を正しく使うことが難しく、話したり書いたりすることに自信がない生徒や、状況把握が難しいとき、自分の思ったことや考えたことを相手にうまく伝えられないとき等に情緒が不安定になる生徒もいる。
- このような生徒の実態から、「できるだけくわしく文を作ろう」という題材を設定した。この題材は、絵を見て分かったことや考えたことを表現するので比較的生徒にも親しみやすく、興味・関心を引き付けながら取り組める題材であると考え。また、絵を示しながら説明することができるので、場の状況が把握しやすく、苦手意識がある生徒も、主語や述語の関係及び修飾語と被修飾語の関係や「いつ」「どこで」「誰が」「何を」などという文の構成についての初歩的な理解がしやすい。
- 指導にあたっては、絵をよく見ることを意識させるために、絵を一旦見せてから隠し、覚えていたところを訪ねるなど、ゲーム感覚で答えるところからスタートし、「いつ」「どこで」「誰が」などを質問することでその後の書く活動へのヒントとしたい。文を書く場面では、「～が～している。」など短い文を書くことから始め、主語と述語及び修飾語と被修飾語の関係を理解させるとともに、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」などの文の構成について意識させたい。  
発表場面では、黒板に各自の文を書いて見せることで、友だちの書いた文と同じ所や違うところ、詳しく書いているところなどに気付かせ、生徒の考えを繋ぐようにしたい。また、生徒によっては、絵で示された場面の状況を自分の立場に置き換えて、心情を盛り込んだ表現ができることができることをねらい、しっかりと生徒の表現を拾い上げ、より詳しい文章を作ることを目指したい。

6 題材の目標

- 絵を見て、思ったことや考えたことを相手に伝わるように話すことができる。
- 主語と述語及び修飾語と被修飾語の関係を理解するとともに、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「～なので」等の言葉を使って、詳しく書くことができる。

7 指導計画

- |     |                           |   |              |
|-----|---------------------------|---|--------------|
| 第一次 | 絵を見て簡単な文章を書こう             | … | 2時間          |
| 第二次 | 少し複雑な絵を見て、できるだけくわしい文章を書こう | … | 5時間(本時5 / 5) |
| 第三次 | まとめをしよう (一次と二次の文章の比較)     | … | 1時間          |

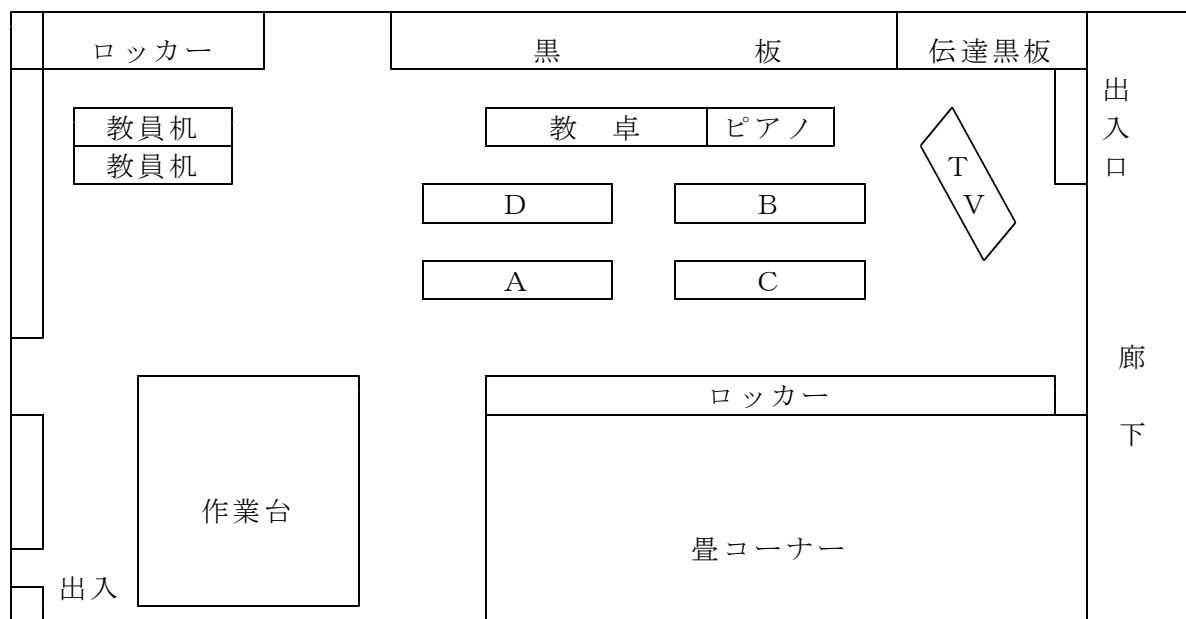
## 8 本時の目標

生徒	状 況	目 標
A (○年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと話すことに自信がなく声が比較的小さいが、簡単な短い文で話すことができる。</li> <li>・拗音や促音、撥音を正しく書くことが難しく、書くことへの抵抗感があるが、主語と述語を使った文を書くことができるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことや考えたことを話す。</li> <li>・修飾語や「いつ」「どこで」等の言葉を使って詳しく書く。</li> </ul>
B (○年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が早口になり、相手に伝わりにくいところがある。</li> <li>・促音を正しく書くことは難しいが、主語と述語を使った文を書くことができるようになってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声のスピードや明瞭さを意識して話す。</li> <li>・修飾語や「いつ」「どこで」等の言葉を使って詳しく書く。</li> </ul>
C (○年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が早口になり、相手に伝わりにくいところがある。</li> <li>・主語と述語を使った文を書くことができる。</li> <li>・修飾語や「いつ」「どこで」「誰が」「何を」等の言葉を使って、書くことができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声のスピードや明瞭さを意識して話す。</li> <li>・修飾語や「いつ」「どこで」「誰が」「何を」等の言葉を使うとともに、「～だから」等の理由づけをした文を書く。</li> </ul>
D (○年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉が早口になり、相手に伝わりにくいところがある。</li> <li>・修飾語や「いつ」「どこで」「誰が」「何を」等の言葉を使って、書くことができるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声のスピードや明瞭さを意識して話す。</li> <li>・修飾語や「いつ」「どこで」「誰が」「何を」等の言葉を使うとともに、「～だから」等の理由づけをした文を書く。</li> </ul>

## 9 準備物

テレビ パソコン ワークシート ヒントカード

## 10 教室の配置図



11 学習過程

時間	学習内容・活動	教師の支援 (○) 及び評価 (☆)					
		全 体	生徒A (1年)	生徒B (1年)	生徒C (2年)	生徒D (2年)	準備物
14:30	1 はじめの挨拶をする。  ・全員で元気に参観者に挨拶をする。	○参観者が生徒の学習姿を楽しみに来ていることを伝えて意欲の向上につなげる。	☆自分なりに大きな声を出して、挨拶をしたか。	☆自信をもって、元気に挨拶をしたか。	☆自分なりに大きな声を出して、挨拶をしたか。	☆自信をもって、元気に挨拶をしたか。	
	2 今日の学習のめあてを確認する。  ・黒板に書くめあてを読む。	○自信がなく、間違えることに不安を感じている生徒もいるので「間違ってもいいよ。」ということ伝える。	○これまでに学習したことをふり返り、今日の学習のめあてをより理解しやすくする。 ☆自分なりに大きな声を出して、読むことができたか。	☆自信をもって、大きな声で読むことができたか。	☆自分なりに大きな声を出して、読むことができたか。	☆自信をもって、大きな声で読むことができたか。	
14:35	3 絵をよく見て、その内容をよりくわしく話したり書いたりする。  ・テレビに映し出される絵を見て覚える。 ・絵の中から、数や色及び「いつ」「どこで」「なぜ」等についての教師の発問に答える。	○これまでに学習してきた内容を想起させる。  ○質問する内容に関するヒントを与え、より絵を意識して見るができるようになる。 ○発表する際に気をつけるポイントを確認することで、より意識できるようにする	○短期記憶には自信をもっているのに、細かい質問をし、意欲の向上を図る。  ☆自信をもって話すことができたか。	○短期記憶には自信がないので、分かりやすい部分の質問をし、意欲の継続を図る。  ☆声のスピードや明瞭さを意識して話すことができたか。	○短期記憶には自信をもっているのに、細かい質問をし、意欲の向上を図る。	○短期記憶には自信がないので、分かりやすい部分の質問をし、意欲の継続を図る。	○ワークシート ○TV ○パソコン

14:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵について、修飾語や「誰が」「何を」「どこで」「いつ」「～している」「～なので」「どんな」等の言葉に気をつけながら書く。</li> <li>自分の書いた文章を発表する。</li> <li>友達の書いた文を見て、詳しく書かれているところを考えて発表する。</li> </ul>	<p>○「誰が」「何を」「どこで」等のヒントになるカードを提示することで、詳しく書くポイントを意識しやすくする。</p> <p>○詳しく書いている箇所に気付きにくい時には、ヒントカードを指さすなどして、生徒自ら気付くようにする。</p>	<p>○文字を書くことに抵抗感があるので、ヒントカードを活用すると共に、表記の間違いは指摘しない。</p> <p>☆修飾語や「いつ」「どこで」「誰が」「何を」などの言葉を使って、書くことができたか。</p> <p>☆友達の書いた文章の中から、詳しく書かれた箇所に自分から気付き、発表したか。</p>	<p>○文字を書くことに抵抗感があるので、ヒントカードを活用すると共に、表記の間違いは指摘しない。</p> <p>☆声のスピードや明瞭さを意識して発表することができたか。</p>	<p>○「～君ならどうしますか。」「それはなぜですか。」などの質問をすることで、自分のこととして考えたり、理由付けを意識したりできるようにする。</p> <p>☆修飾語や「いつ」「どこで」「誰が」「何を」等の言葉を使うとともに、「～だから」等の理由づけをして書くことができたか。</p>	○ヒントカード
15:00	<p>4 今日の学習のめあてが達成できたか評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりにできた所をプリントに記入し、発表する。</li> </ul>	<p>○できているところやもう少し頑張りたいところなどを具体的に評価することで、達成感をもたせると共に次時への意欲へと繋げる。</p>	<p>☆自信をもって発表することができたか。</p>	<p>☆声のスピードや明瞭さを意識して発表することができたか。</p>		
15:10	<p>5 次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次の時間に学習することを知る。</li> </ul>	<p>○今後の予定を確認することで、見通しを立てやすくし、不安を取り除く。</p>				
15:15	<p>6 終わりのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全員で元気に参観者に挨拶をする。</li> </ul>		<p>☆自分なりに大きな声を出して、挨拶をしたか。</p>	<p>☆自信をもって、元気に挨拶をしたか。</p>	<p>☆自分なりに大きな声を出して、挨拶をしたか。</p>	<p>☆自信をもって、元気に挨拶をしたか。</p>